

民主党東京21区が義援金

長島代議士と風間秘書が市へ寄贈



市長に寄付を手渡す長島代議士(左)、風間氏、庭野氏

民主党の東京都第二十一区総支部・長島昭久衆議院議員と同議員の風間直樹政策担当秘書が、六日(土)日

町市役所を訪れ、滝沢信一市長に中越地震の義援金四十九万九千三百七十二円を寄贈した。

選挙区東京都第二十一区は立川市、昭島市、日野市。義援金はJR中央線の立川駅街頭で、同党総支部の十七人が十個の募金箱を設けて人々に支援を呼びかけ、寄せられた浄財。

この日は十日町市議会議員の庭野政義氏と風間氏が元白川代議士の上越地区青年部長だったことが縁で、庭野市議の案内で訪れた。義援金を滝沢市長に手渡したあと長島代議士は「今回の地震で子供達の心の傷みは大変と思う。特に子供達のために役立ててほしい」と語った。受け取った滝沢市長は「我々のために募金をしてくれ感謝する。皆さんの気持ちに沿うよう有効に使わせて貰いたい」と礼を述べた。

長島氏と風間氏が滝沢市長と懇談している時、突然震度三の余震に見舞われ、二氏は地震の余波を肌で感じていた。